

大学近隣の風景写真(奈良女子大学メールマガジンより抜粋)

今号は学外フェアなどへの出展に関するご報告(3件)を中心にまとめています。公募案内は次号に掲載いたします。

1. 『第6回元気企業ビジネスフェア NANTO』に出展しました。

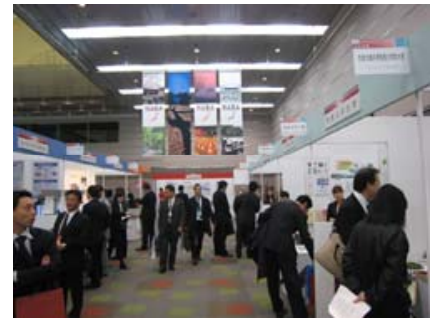
12月4日、5日に「マイドーム大阪」で開催されました南都銀行主催の「第6回元気企業ビジネスNANTO」に出展しました。地域密着型のビジネスフェアということで、理学部鈴木孝仁教授「奈良八重桜酵母の分離」と「ひのき消臭効果」、生活環境学部山口智子助教「地域資材(奈良漬)展開プロジェクト」、そして平成18年度に採択されました「可視化コンテンツクリエイタ養成プログラム」のご紹介を行いました。同じ建物の階下では池田銀行主催のビジネスフェアを開催されていることもあり、毎年来訪者が多いことがこのフェアの特徴です。



南都銀行西口頭取



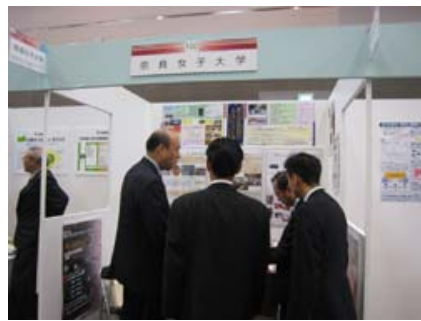
オープニングの様子



会議場様子



本学展示ブース↓



本学展示ブース↓



本学展示ブース↓(奈良市長)

展示パネル→

奈良八重桜酵母の分離

奈良女子大学理学部内にある八重桜の酵母を分離し、その遺伝子解析や機能解析を行っています。この酵母は、食品の発酵や醸造に利用されています。

ひのき消臭効果

ひのき(杉)の精油成分が持つ消臭効果について、科学的に検証しています。その効果は、食品の保存や室内の消臭に有効です。

地域資材(奈良漬)展開プロジェクト

奈良漬という伝統的な食品を、現代の食品工業に応用するためのプロジェクトです。地域産品の価値を高め、新たな市場を開拓しています。

商品化研究中

奈良漬の成分を抽出し、食品添加料として商品化するための研究を進めています。

可視化コンテンツクリエイタ養成プログラム

デジタルコンテンツの制作スキルを習得するための養成プログラムです。最新のソフトウェアやハードウェアを活用して、実践的な学習を行います。

可視化支援では、独自のコンテンツとして展開を支援します

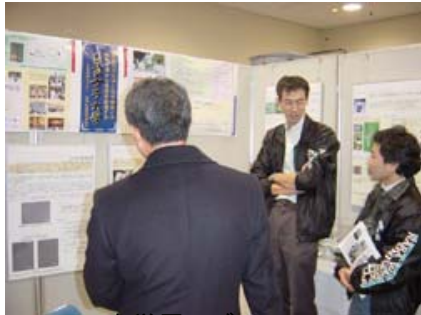
本学では、独自のコンテンツとして展開を支援しています。最新のソフトウェアやハードウェアを活用して、実践的な学習を行います。

2. 『アグリビジネス創出フェア』に出展しました。

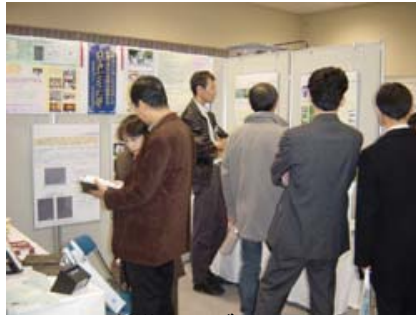
12月12日に「OMM2階展示Cホール」で開催されました近畿農政局主催の「アグリビジネス創出フェア」に出展しました。理学部教授鈴木孝仁「奈良八重桜酵母の分離」と「ひのき消臭効果」、理学部准教授遊佐陽一「大和川における外来種スクリミンゴカイと在来天敵相」、理学部准教授差等宏明「シカの採餌が招いたイラクサの刺毛形質の進化」のご紹介を行いました。今年から会場を変更したこともあったのでしょうか、フェアへの来場者が昨年度よりかなり少なく、その分ブースを訪られた方はゆっくりと説明を聞いておられました。



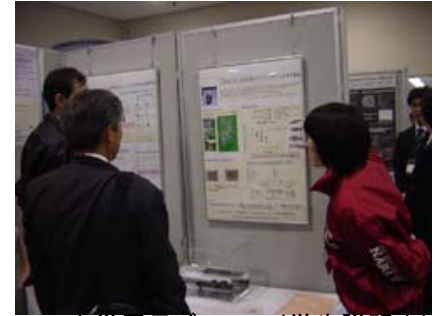
本学展示ブース↓



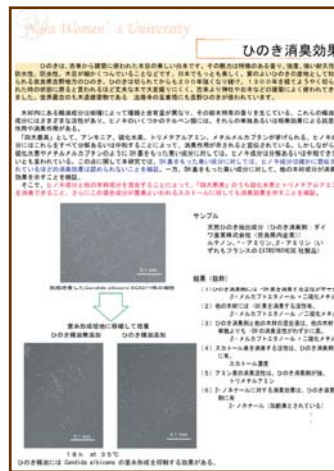
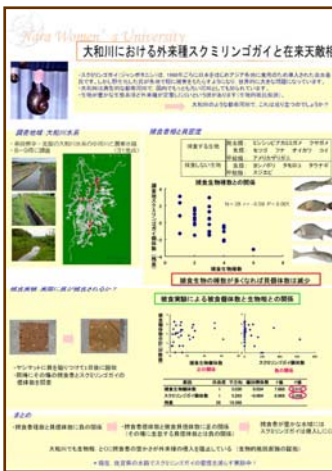
本学展示ブース↓



本学展示ブース↓



本学展示ブース↓ (学生説明中)



3. 『ものづくりメッセ大和高田2007』に出展しました。

11月17日から2日間行われました「ものづくりメッセ大和高田2007」への大学ブース出展の様子です。写真は搬入時のものです。ご家族連れでのご参加が多いということで、府省採択の事業や、大学メールマガジンといった大学案内を中心に設置しました。大学PHOTOメッセージや研究紹介集の冊子は最終日の午後を待たずになくなりました。この2日間は、生活環境学部の学生が大和高田市からの依頼で地元企業の商品や展示ブースなどについて学生の感覚としてコメントをつける作業を行っています。



本学展示ブース↓



本学展示ブース↓

4. 日刊工業新聞社主催「第2回モノづくり連携大賞 【特別賞】」受賞

「第2回モノづくり連携大賞」（日刊工業新聞社主催、新エネルギー・産業技術総合開発機構＝NEDO共催、中小企業基盤整備機構特別協力）は、合計56件の応募案件について審査委員会（小宮山宏委員長＝東京大学総長）にて審査され、大賞以下、計10件が選定されました。

本学からは、生活環境学部食物栄養学科助教山口智子、生活環境学部現代GP（平成17年採択：地域の革新を促す女性人材育成プログラム－歴史的市街地に立地する大学を地域社会変革の拠点とする－）推進室を核に行っております【地域資財（奈良漬）展開プロジェクト】が「特別賞」をいただきました。「奈良漬に学生の感覚とアイデアでアプローチした地域色豊かな取り組み」と評価をいただいております。

◇受賞案件 地域資財（奈良漬）展開プロジェクト

◇受賞対象者 奈良女子大学、奈良県、植村牧場、JA奈良支店朝市組合
今西本店、辰巳屋、奈良屋本店、森奈良漬店、山崎屋
奈良市内中心商店街

社会連携センターではこの『地域資財（奈良漬）展開プロジェクト』に関しましては、学外PRやモノづくり連携大賞への応募申請書の作成などをサポートさせていただきました。



左より現代GP推進室 森田尋子、元学生代表（現：カゴメ株式会社）渡邊紋子さん、生活環境学部 助教 山口智子、社会連携センター特任准教授 藤野千代の4名です。



授賞式と、受賞者プレゼンテーションの様子



5. コーディネーター お勧めグッズいろいろ



↑全学仕様の紙ファイル。



↑研究紹介集
2006-2007



↑オリジナルノート



↑手提げ紙袋（学生からもお洒落と好評です）



←大学メールマガジンで紹介した写真が満載のPHOTO MESSAGE追加増刷しました。